

- 2 次世代を担う 農業者を応援します!!
- 6 消費生活センターに ご相談ください!
- 8 マダニから身を守ろう
- 9 介護保険制度の負担限度額
- 10 いきいき健康
- 12 暮らしの情報
- 27 市民のひろば
- 28 キラリ天草人
- 29 天草文化財探訪/天草見どころ図鑑
- 30 未来のスター/和んチーム
- 31 ハッピーバースデー/天草で働いていいね
- 32 宝島のわだい
- 34 お出かけ情報/8月の潮汐
- 35 休日在宅病・医院 水道修繕当番店/献血日程
- 36 天草西海岸夕陽・夕景フォトコンテスト



LINE



Facebook



Instagram

人のうごき 6月末日現在

6月中の異動		※()内は前月比	
人口	77,245 (95減)	出生	31人
男	36,330 (39減)	死亡	107人
女	40,915 (56減)	転入	85人
世帯数	36,677 (13減)	転出	104人

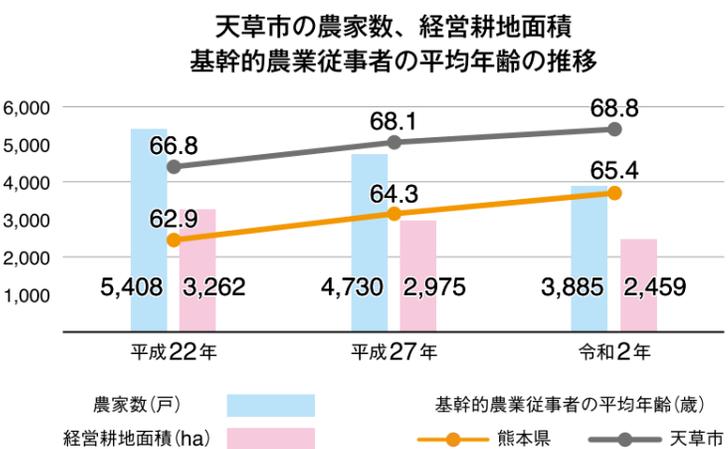
農業が抱える問題

日本の農業は、担い手の高齢化と後継者不足が深刻な問題となっています。本市も例外ではなく、過去10年間で、農家は約1500戸、経営耕地面積は約800ha減少。主に自営農業に従事している人(基幹的農業従事者)の平均年齢は2歳上昇しており、県平均と比べても高齢化が進んでいます。

農業従事者が減少すると使われなくなる農地が増加し、今後、農産物の安定供給ができなくなることや住宅付近の農地が荒れることで起こる住環境の悪化が懸念されています。

念されています。農地は一度荒れてしまうと、営農できる状態になるまでには多大な労力と時間が必要。また、新規参入するにも土地の確保や、農業機械や機材の購入など多くの初期費用がかかり、初心者の場合、栽培技術の習得にも時間がかかります。

そこで、市では栽培技術習得の支援などをする「天草市新規就農サポートセンター」をはじめ、新規就農者への支援制度を設けています。



次世代を担う 農業者を応援します!!

本市では温暖で豊かな自然環境を活かし、早期米、デコポンや温州みかん等の柑橘類、レタスやトマトなどの野菜といったさまざまな農産物が栽培されています。一方で、担い手の高齢化や後継者不足などの問題を抱えてもいます。今号では、本市の新規就農者への支援を紹介します。 関農業振興課 ☎32-6792

就農の夢を叶えました

農業を楽しんでいます!! interview 01

結婚して天草市に住みはじめ、義父母の栽培を手伝っていた。義父が体調を崩していたが高齢であることから、自分が全部引き受けることを決意し、平成29年に経営を継承。小屋や農業用機械はあったが、かなり老朽化していたため、市の親元就農者給付金を活用して機械を購入した。

以前は甘夏とポンカンを栽培していたが、シーズンを通して段階的に収穫し収入を得られるように4年かけて圃地を整備。現在は7

松崎 千加子 さん
(有明町)

農作物

極早生みかん、早生ポンカン、温州みかん、デコボン(不知火)、甘夏



か所で栽培している。みかんは品種により収穫後の貯蔵方法が違うため、小屋の改装を行い、自分が動きやすいように動線を確保するなど工夫を施した。また、オリジナルの帽子やシャツ、ズボンなどを作り、楽しんで取り組んでいる。

栽培方法も農協や近隣の農家から教えてもらい、以前より糖度が2度高いデコボンを栽培できるまでに。「デコボンは食べない」と言っていた子どもたちから「デコボン美味しかったね」と言ってもらえるようになった。

作ったみかんは農協と直売所で販売。直売所で商品を並べていた時に「あなたのを買いに来たの、頂戴」と言ってもらえ、自分のみかんを待つてくれてる人の存在がとても嬉しく、やりがいになっていく。

現在はすべて露地栽培をしているが、屋根掛け栽培など安定した品質と量を確保できるように設備を充実させていきたい。

人とのつながりを大切に!! interview 02

16歳から漁師をしていたが、妻の実家の農業を手伝ううちに、農業に興味を持ち今年1月に新規就農。天草市新規就農サポートセンターの農業次世代人材投資事業を活用し、長年きゅうりの栽培をしている指導農士の川端勇喜さんのもとで1年間栽培方法などを学んだ。

漁業と違い、ビニールハウスがあれば天候の影響を受けにくく、時間の使い方を自分で決めることもできる。畑の水はけが悪く、きゅうりが傷んでしまったものもあるため、暗渠排水を整備するなどの対策を予定。失敗することもあるが、

小森 雅史 さん(新和町)
農作物 きゅうり



その後自分で考えて行動するのが楽しく、自分の頑張りが成果につながるのも農業の魅力だ。

農業は栽培に適した土を作るのももちろん、周りの農家とのつながりを持つなど環境づくりが大切だ。最初は知識がなく判断に困る農業用機械など、購入時には相談することもできる。

今後は、少ない面積で多くの量を収穫できるように、自分の畑に合った栽培方法を見つけていきたい。

※4H：農業の改良と生活の改善に役立つ腕(Hands)、科学的に物を考えることのできる頭(Head)、誠実で友情に富む心(Heart)、楽しく暮らし元気で働くための健康(Health)の頭文字

天草市新規就農サポートセンター

構成組織

- ・JAあまくさ
- ・熊本県天草広域本部
- ・JA本渡五和
- ・天草市農業委員会
- ・天草市

活動内容

- ①栽培技術習得の支援
- ②農業経営の支援
- ③農地やハウスの確保支援

JAの研修施設や農家(師匠)のもとで研修を実施
青年等就農計画の作成支援や、給付金などの紹介
農地情報などの提供やJAの仮独立ハウスの貸し付け

支援制度をご活用ください

農業技術を学びたい!

→ 農業次世代人材投資事業(準備型)

対象 ▶ 50歳未満で就農予定の人

支援内容 ▶ 農業技術および経営ノウハウ習得のための研修の場を提供するとともに研修生に対して資金を交付
150万円/年(最長2年間)

→ 新規就農者給付金(準備型)

市事業

対象 ▶ 50歳以上65歳未満で就農予定の人

支援内容 ▶ 農業技術および経営ノウハウ習得のための研修の場を提供するとともに研修生に対して資金を交付
150万円/年(最長2年間)

親族の農業を引き継ぎたい!

→ 親元就農者給付金(準備型)

市事業

対象 ▶ 65歳未満で親元(農業所得250万円未満)から経営継承して就農する予定の人

支援内容 ▶ 親元で研修する際に資金を交付
120万円/年(最長1年間)

→ 親元就農者給付金(経営開始型)

市事業

対象 ▶ 65歳未満で親元(農業所得250万円未満)から経営継承し青年等就農計画の認定を受けた人など

支援内容 ▶ 経営を開始した際に資金を交付
120万円/年(最長3年間)

就農直後に費用がかかる

→ 農業次世代人材投資事業(経営開始型)

対象 ▶ 青年等就農計画の認定を受け50歳未満で就農した人

支援内容 ▶ 就農直後の経営確立を支援する資金を交付
1~3年目:150万円/年
4~5年目:120万円/年

→ 新規就農者給付金(経営開始型)

市事業

対象 ▶ 青年等就農計画の認定を受け50歳以上65歳未満で就農した人

支援内容 ▶ 就農直後の経営確立を支援する資金を交付
150万円/年(最長3年間)

農業用ハウスを整えたい!

→ 新規就農者施設整備補助金

市事業

対象 ▶ 平成29年4月1日以降に就農し、給付金を受給している人

支援内容 ▶ ハウス新設費などの50%以内を補助
上限500万円

定年後農業を始めたい!

市事業

→ セカンドライフチャレンジ補助金

対象 ▶ 定年就農希望者や兼業農業者、移住希望者などで営農改善計画の認定を受けている小規模農業経営者

支援内容 ▶ 簡易ハウス新設費などの50%以内を補助
上限150万円

お気軽にご相談ください! 天草市新規就農サポートセンター(農業振興課内) ☎32-6792

異業種から新たに農業を始めたい 親元就農したい 雇用就農したい